

令和4年8月

# なばり市議会だより

No. 105

市議会の動きをコンパクトにまとめてお伝えします。今号は 6月 9月 12月 3月 の定例会をクローズアップ

編集/議会広報特別委員会 発行/名張市議会 ● 三重県名張市鴻之台1-1 ☎ 63-7834 FAX 64-8870 ✉ gikai@city.nabari.mie.jp

## 時代が求めた新市長、 新しい名張を議長と語る



4月に行われた同日選挙により北川新市長が誕生し、議会も新しい体制となりました。この機会をとらえ、北川市長(写真右)と福田議長(写真左)が未来志向で対談しました(対談中はマスクを着用するなど感染症対策を行っています)

### 産業基盤づくりと若者の定着を

#### 新しい名張のビジョン、議会の権能について

**市長** まずお話ししたいのは、観光産業を中心とした産業基盤作りと若者の定着が、政策の一丁目一番地です。人口減少の中でも自然減に対する少子化対策については、前市長が手掛けてこられた手厚い支援制度をしっかりと引き継ぎ、さらに充実していくのが一番だと思います。社会減については、一旦は進学で流出した若者が、名張に帰って地元で就職していただく意味で観光産業を構築し、若い人の雇用も作り、税収アップと若者の定着につなげたいと考えています。

**議長** 新たな市長のもとで新たな議会が同時にスタートした今、議長として改めて議会の持つ権能を、議員の皆さんとともに重要視していきたいと思っています。私は「議決」というのが一番大きな権能であると考えており、議決に至るまでに議員間討議も含めて十分議論できる議会を構築したいと思っています。さらに、市民の皆さんの意見を吸い上げる形で議論し、新たな政策を市長に提案できる議会にしていきたいと考えています。

**市長** 若者の参画が私の政策の柱の一つになります。基本は、タウンミーティングなど、若い世代の声を聴く場を作るとともに、地元の人と関わりながらまちづくりに参加してもらえる仕組みを作りたいと考えています。県には、地域づくりに参加する三重創生ファンタジスタという仕組みがあり、参加した学生からは、地域の人たちから頼られることで自信が持て、自尊心も満たされると聞いています。15地域の1カ所でもモデル的にできたらと思います。

**議長** 若い人は「頼りにされている」と感じることで名張に来て住み続けようと思うのではないかと考えます。そこで地元の高校や近大高専の学生と議会の交流、若者と地域の交流、市内全域の住民を対象にした議会報告会の開催なども行いたいと思います。今の時代に合った形で進めていき、2025年の大阪万博を見据えた本市の観光政策も議長会などのつながりを生かして後押ししていきたいと考えています。

#### 議会と市民との懇談について

**議長** 議長所信表明の時、「いずる議会」を行い市民の中に飛び込んでいくことを約束しました。新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながらも、積極的に交流を図りたいと思います。

#### 今後の名張市の進む道について

**市長** 広域連携が大切と考えます。伊賀市はもちろんのこと、奈良県側も含めてウイングを広げて連携していくつもりです。また、大阪に三重県の関西事務所もあるので、本市への観光客誘致の観点から関西方面への情報発信も強化していきたいと考えています。

#### 市長の描く政策を市民とともに

##### 今後の行政と議会について

**市長** 議員の皆さんは市民に選挙にて選出いただいていることから、多くの市民の声を聴く機会があります。市民の声を行政運営に反映させるためにも、二元代表制のもと議会と積極的な関わりを持つていきたいと考えています。

**議長** 過去に十数回名張市の市長選挙を見てきていますが、一人を選ぶ選挙というのは時代が求めている人が選ばれるのかなと感じます。北川市長の描いた政策を市民の皆さんとともに進めていってほしいと思います。

令和4年  
6月定例会

9議案を可決

6月定例会(第404回)を6月9日開会、27日閉会の19日間の日程で行いました。

提出された議案は条例改正4件、一般議案1件、令和4年度一般会計補正予算3件、人事案件1件の9議案と請願1件です。

これらの議案を本会議、常任委員会で審議し原案のとおり全て可決または同意し、請願1件を採択しました。

一般質問は3日間行われ、9議員が登壇し、市政全般にわたる質問を行いました。

補正予算

補正予算については一般会計で14億9158万円の増額補正を行い、増額後の一般会計予算額は294億3969万円となりました。

主な事業費は子育て世帯への給付金給付事業2億1559万円、市民テニスコート改修事業1億1945万円、感染症予防事業(子宮頸がん予防ワクチン)5238万円などとなっています。

一般質問

議員の質問と、市長などの答弁をご紹介します(一部抜粋)。掲載内容は議員から提出された原文を尊重して、編集しています。

Q&A

子育て

公明党

富田 真由美 議員



Q 養育費の不払い防止

子どもの養育費について、離婚後、支払いの約束が守られていない家庭は、全国のひとり親家庭の4分の3いる。養育費の不払いは、ひとり親家庭が困窮する要因の一つになっている。養育費の取り決めは、公正証書や調停調書などの書類にしておくことが大事である。両親が離婚時に子どもの将来について熟慮し、養育費について合意できるよう行政による親へのガイダンスや支援体制を求める。

A 社会全体で支える

児童扶養手当など手続きの際、公的書類の作成などを勧奨し、現に不払い等の問題を抱えている人には、各種相談窓口を案内している。個人の責任にせず、社会全体で支えることが重要であると考え、支援について検討する。



行政

清風クラブ

小林 勝 議員



Q ICT推進体制整備

国による自治体DX推進計画(※)が始まっており、本市においても自治体アプリの開発・運用を検討開始するため、ICT活用推進の専門部署設置を提案する。

※自治体DX推進計画…各地方自治体が、情報システムの標準化や行政手続きのオンライン化などについて計画的に取り組む方策を検討するため、総務省が策定したもの

A 専門部署設置を検討

本市では総合企画政策室、行政改革推進室、情報政策室の3つの室がICT活用・DX推進関連の部署になるが、令和7年度中の自治体情報システムの標準化に向けて、司令塔となる部署が庁内にも必要だと考える。限られた人数での組織であるため、現段階では難しいが、少しでも早い段階でDX・ICT推進のための司令塔となる組織を作りたい。

喜働

足立 淑絵 議員



Q 地域活性化起業人を

民間の視点を取り入れたい自治体側と、地方とつながりを持ちたい企業側の双方に利点がある「地域活性化起業人(※)」制度は、総務省も積極的な利用を呼び掛けている。本市は受入可能団体だが今後の予定を問う。

※地方公共団体が三大都市圏に所在する民間企業などの社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を活かしながら地域独自の魅力や価値の向上などにつながる業務に従事いただく制度

A 調査研究し検討する

自らの地域の未来に希望を持ち、個性豊かで潤いのある地域社会を形成するため、官民の連携が今後ますます重要になってくる。解決したい地域課題をはじめ、企業側に求める業務内容、地域おこし協力隊との連携や住み分け、市の受入態勢や支援体制などを整理するとともに、他の自治体の事例調査研究を深め、今後の課題として具体的な検討を進めていく。



【YouTube】第404回定例会の再生リストはこちらから

● 学校教育

日本共産党

藤川 美広 議員



Q 自校方式早期実現を

中学校給食については、子ども達のために何が一番良いかを考えてほしい。自校方式は、「食育」の推進や地産地消による農業の振興のほか、建設事業を市内業者が行うことで、地域経済の好循環にもつながる。災害時にも安心できる自校方式での早期実施を求める。

A 持続可能な方式で

現時点では今年度に庁内調整を図り、来年度には民間活力導入可能性調査を実施する。その後3年程度で給食センターの設計業務、建設工事に着手し、令和9年度中に給食開始を目指す。児童・生徒数や様々な社会情勢も大きく変化しており、過去の経緯、議論は尊重しながらも、様々な検討をベースのところからもう一度しっかりと行い、持続可能なものとなるよう、慎重に進めていく。

自由クラブ

木平 秀喜 議員



Q 中学校給食早期実施

中学校給食については学校教育上、有意義であり「食育」という観点からも大変重要な役割を果たすことから、名張市では市内全中学校一斉導入に向けて検討を行っている。平成28年3月に「名張市中学校給食のあり方検討委員会」から意見書が提出されて既に6年以上が経過しており、早急な対応が求められる。これらを踏まえ現時点における市の考え方を問う。

A 令和9年度実施予定

令和9年度中を目途に開始したい。4、5年前と比べて、児童・生徒数も変化している。もう一度議論、検討しながら、できる限り早期に実現したいが、持続可能なものとして実現できるよう、慎重に議論を進めていく。

公明党

阪本 忠幸 議員



Q 中学校給食について

給食方式として、デリバリー方式は適さない。親子方式は小学校給食室の老朽化により不可能で、自校方式は、中学校によっては給食室建設の敷地がなく不可能とのことである。残るは給食センター方式のみであるが、将来のことも考慮し、小中学校合同の給食センターとし、なおかつそのセンターを米・飲料水の防災倉庫としての活用を望む。

A センター方式で検討

中学校給食は給食センター方式として検討・準備を進めていきたい。また小中学校合同の給食センター及び防災倉庫としての活用については、今後の検討課題としていきたい。



自由クラブ

柏元 三 議員



Q 学校トイレの洋式化

小中学校トイレの洋式化率が20%、30%と低い学校が多い。教育委員会は洋式化が遅れている学校から順番に、洋式化を進めると言いながら、洋式化率90%の美旗小学校のトイレを優先して、洋式化率100%にする。しかも和式トイレ4器の洋式化に1400万円を投じる。4器ならば150万円程度で洋式化できる。何故そのような金の使い方をするのか。どういう経緯でそうなったのか。

A においの解決を優先

美旗小学校の校舎は古く、トイレも古い。においが酷い。学校と地域が協力して何度も清掃したが、解決できなかった。においの発生場所が多岐にわたるため、トイレ全体を乾式化することになり、この費用となった。

その他質問

Q & A

公明党

吉住 美智子 議員



Q 子宮頸がん予防

子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨が差し控えられた期間、接種の機会を逃した人が大勢いる。この度、ワクチンの有効性が改めて確認されたことを受け、公平な接種機会を確保するため、定期接種の対象年齢を超えて接種を行うことになった。市の対応を問う。

A キャッチアップ接種

対象者は平成9年4月2日から同18年4月1日までの間に生まれた2239人で、本年4月に個別に案内を発送した。「キャッチアップ接種」として、令和4年4月から同7年3月までを接種期間とする。



日本共産党

三原 淳子 議員



Q 紹介状なしの初診料

市立病院で紹介状なしの初診料が5000円から7000円に値上げされる。紹介制を市民は理解しているが、急病や、かかりつけ医で回復せず紹介状を持って受診した時には手遅れだったという事態もある。患者が自ら医療機関を選みたいと望む時に、金銭的負担が重く受診ができないのは命にかかわるのではないのか。

A 法改正への対応

国の法改正で7000円以上の徴収が義務化された。救急など、緊急やむを得ない場合は徴収しない。かかりつけ医とコミュニケーションをとって病状を伝えてほしい。



第404回定例会 議決結果

全会一致で  
可決

▼令和4年度一般会計補正予算(第2号) ▼市税条例等の一部を改正する条例の制定 ▼手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定 ▼老人福祉法に基づく措置に要する費用負担徴収条例の一部を改正する条例の制定 ▼市道路線の認定 ▼令和4年度一般会計補正予算(第3号) ▼令和4年度一般会計補正予算(第4号) ▼副市長の選任同意

表決が  
分かれた  
議案

▼市立病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定

会派	無党派	日本共産党	喜働	心風会	自由クラブ	清風クラブ	公明党										
議員名	幸松	藤川	三原	足立	川合	荊原 <small>いげはら</small>	永岡	木平	山下	柏	小林	坂本	常俊	阪本	富田	細矢	吉住
	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(福田議長は採決に加わりません。○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員)

その他

■ 名張市立幼稚園の統合、民営化に関する請願・・・採択

各常任委員会より

総務企画委員会

<後列左から>

永岡 禎、幸松 孝太郎、川合 滋、木平 秀喜

<前列左から>

【委員長】常俊 朋子 【副委員長】細矢 一宏



総務企画委員会では、全国で多発する自然災害や南海トラフ地震が懸念される中、「コロナ禍での防災・減災について」を所管事務調査のテーマとし、議長方針の「いずる議会」の趣旨を踏まえ、各種団体との意見交換会や、防災力の向上を目的に調査・研究を行います。

教育民生委員会

<後列左から>

荊原 広樹、坂本 直司、藤川 美広、柏 元三

<前列左から>

【委員長】富田 真由美 【副委員長】足立 淑絵



教育民生委員会では、前委員会からの「通学路の安全対策の調査報告」を踏まえ、その内容について教育委員会へ聴き取りを行い、「子どもの安全・安心」について所管事務調査を行っております。各種団体との懇談を行い、現場の声を聴かせていただき、調査・研究してまいります。

産業建設委員会

<後列左から>

福田 博行、吉住 美智子、三原 淳子、山下 登

<前列左から>

【委員長】阪本 忠幸 【副委員長】小林 勝



産業建設委員会では、「農業振興・産業振興・観光振興」について所管事務調査を行っております。特に市内の各種団体の皆様方と積極的に意見交換を行い、直接現場の声を聴かせていただきながら調査・研究してまいります。

Web アンケートにご協力いただき  
ありがとうございました!

昨年度、広報紙などにおいて議会や議会広報などについてアンケートを実施し、さまざまなご意見をいただきました。ご協力に感謝いたしますとともに、今後の議会運営や広報委員会としての活動に活用させていただきます。今回は、お寄せいただいたご意見の中から一部をご紹介します。

寄せられたご意見 (一部抜粋)

- ▶ テレビがない場面でも視聴ができる YouTube 配信は良い。本会議以外の会議も中継してほしい。
- ▶ 議会広報の現状を知るための調査は良いと思う。市民側の意識の問題もある。引き続きの尽力を願う。
- ▶ 議会への関心は様々であり、注視してもらうための策は必要。何を求めて議論しているのか、噛み砕いた言葉で分かりやすく伝えてほしい。
- ▶ テレビの議会中継を再放送してほしい。また街中掲示板やモニターなど街中で観られると近くに感じる。また議員個々の紹介もあると注目度も上がると思う。

議会報告会を開催します

市民の皆さんを対象とした「議会報告会」を開催します。日程など、詳しくは決まり次第、広報なばりや議会ホームページなどでお知らせします。

◎「議会報告会」の日程などはこちら



議会の日程

※予定を変更する場合があります。

【YouTube】



開会時間は午前10時からです。全ての本会議(委員会を除く)をCATVで生中継! 9月  
なお、YouTubeでは下記の会議全てを生配信し、過去の会議も視聴できます。



9月2日金 開会	14日水 決算特別委員会(一般・特別会計)
7日水 一般質問	15日木 決算特別委員会(企業会計)
8日木 一般質問	16日金 総務企画委員会
9日金 一般質問	20日火 教育民生委員会
12日月 補正予算	21日水 産業建設委員会
13日火 決算	27日火 採決